

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL  
 ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB  
 CHARTERED IN 2004



THE Y'S MENS CLUB OF ATSUGI  
 4-16-19 NAKACHO  
 KANAGAWA JAPAN 〒243-0018  
 TEL 046(223)1441 担当主事 吉永貴弘

2016年3月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第138号

堀田クラブ会長 若者とともに楽しく活動しよう  
 主 湘南・沖縄部部长 一人ひとりが愛と平和の種をまこう  
 東日本区理事 原点に立って未来へステップ  
 題 アジア地域会長 愛を持って奉仕  
 国際会長 信念のあるミッション

今月の聖句 (強調月間BF、メネット)

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしその人につながってれば、その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15章5節

1月例会報告 1月27日

15年～16年度後半クラブ事業にかかわる件

後半の予算総額 548,100円が計上されておりますが、卓話講師謝礼とクラブ活動について追加が望ましいと思われますので、皆で検討しました。

1. 例会卓話について: 1月～5月で講師謝礼を1回分で計上されていますが、4回ほどクラブ外の方々をお願いすることになりそうで、その費用 17,400円を追加することと賛成多数。

2. 今まで個人をお願いしてきたイベント協力費をクラブの負担に切り替えることにしたいので、その追加支出額

- ① 日本語学科
  - スピーチ会優秀者賞品 10,000円
  - 修了式祝金 10,000円
- ② リーダーとの交流会 10,000円
- 合計 30,000円

これもみなさんの了承いただきました。

3. 以上、予算追加分が 47,400円、総額は 595,500円となります。

例会データ	2月	在籍会員	21人
会員	17人	メイキャッツプ済み	
ビジター	2人	出席率	
ゲスト	4人		
合計	23人		81%

4. クラブ活動について: 3月花見が予定されており、湯本旅館での昼飯代 6,000円は一応自己負担となっています。できれば少しでもクラブ補助をとの声もあるものの、堀田会長のかねて提案の創立10周年記念写真集を優先したいとの意見が多数でしたので、堀田会長に改めて記念誌作成代の見積もりを取っていただき、その上で花見のクラブ補助の有無を決めることになりました。

日本語学科日本語スピーチ発表会へのご案内

厚木YMCAの日本語学科は設立以来生徒数が増加を続けており、活気にあふれています。日本の大学、専門学校への入学を目指して日本語の学習にみんな励んでいて、見ているだけで気持ちがよくります。

毎回の日本語スピーチ発表会では日本の初印象を語る生徒さんがかなりいます。

たとえば、通学の電車での見聞を話す人がかなりあり、混んだ電車に整列乗車する風景に感心したり、揺れる電車の中でお化粧する日本の娘の器用さにびっくりしたり、ちょっぴり皮肉ったりと。

例会のご案内	会長	堀田 哲郎
原則として第4水曜日18時	副会長	石井 芳隆
半から2時間	副会長	川口 知幸
お問い合わせ先	書記	小林 秀
Tel 046-223-1441 吉永貴弘	書記	千葉 裕子
	会計	岩淵 正弘

先日朝日新聞に高橋源一郎のこんな記事がありました。「私の大学には、韓国や中国からの留学生も多くいる。彼らにも日本語で文章を書いてもらう。多くは拙劣な文章だけれども、二つの世界（言語）を生きねばならぬ彼らの文章には日本人学生のものにはないなにかがある。そんな文章を朗読する。すると日本人学生の間には緊張が生まれる。『気づきが生まれる』自分たちが小さな世界、偏見のなかに生きていることに気付く」と。

私も日本語学科の日本語スピーチを聞いてはっと思われることが何度もありました、ぜひ一度聞きに来てみてください。(田口)

### 「米寿のお祝いを謝して」 田口堅吉



1月27日のクラブ例会の終わりに突然、私の米寿を皆さんでお祝いいただき、一言お礼をとること、日ごろ米寿のことは全く頭になく、その上、頭のめぐりが悪いという負の相乗効果で、いつものように一言のご挨拶すら要領を得ないものになってしま

まい申し訳なく思っております。そんなわけで改めてゆっくりお礼を申し上げさせていただきます。

### 思ってもみなかった皆様からのお祝いに 心から御礼申し上げます。

出生日は、その折の紹介にありました通り1929年1月6日で、1月6日というのは快晴が年間で一番多い特異日(86%)だそうで、ほかに自慢するものがないものですから特異日を得意(?)にしています。



出生地は徳川家康の生まれた愛知県岡崎市です。旧制中学の時、園芸のあだ名がコブラという先生が私たちはみんな大嫌いでいやいや授業を受けていましたらとうとう先生の怒りが爆発して「家康が有能な人をみんな連れて江戸へ行ってしまったので、残った野郎どもは皆ぼんくらだ。お前たちはその典型だ」と。

長ずるに及んで確か20歳前後の頃、内村鑑三の「後世への最大遺物」を読みました。

「時は夏、処は山の絶頂」で始まるYMC A東山荘での明治27年(1894年)の夏季学校での有名な講話を収録した岩波文庫の本です。

このなかで著者は世界には建築、土木、文藝などの素晴らしい後世への遺物があるが、そんなことのできる特異な才能を持たない人でも「失望の世の中に非ずして、希望の世の中であることを信じ、歓喜の世の中であるという考えを実行して、その生涯を世の中への贈物として世を去ること」それが後世への最大の遺物の一つだとありました。その位のことなら「ぼんくら」の自分にでもできると思い、座右の銘としてきました。

人生、聖書にもあるように、得意の絶頂にある時もあり、奈落の底に沈んだ時もありましたが、奈落の底でも「やがて明るい朝が来る」と待ち望みました。

企業での定年を迎え、余生を趣味を楽しむだけでなく、世のため、人のために少しはお役にたちたいと思い、かねて考えていたワイズメンズクラブに入会して今日に至りました。多くのすばらしい方々と出会い親しくしていただき、少しなりともこの世をよくして往きたいとの思いを共有し、明るく楽しく日々を過ごさせていただいてきました。

その思いは変わりませんが、ただ最近では人のお名前が出てこない、動作は鈍い等々しみじみ老化を自覚するようになりました。そんなわけですので、これを機に隅においていただいて、なるべく老害を広げさせぬよう気を付けたいと思いますので、変わらぬご好誼のほどよろしくお願い申し上げます。

### 3月事業予定

☆3月9日(水) 10時~12時半

厚木YMC A 体育館

### 日本語学科日本語スピーチ発表会

☆3月11日(金) 10時30分~13時半

厚木市アミュ

### 日本語学科修了式

☆3月下旬 詳細未定

リーダーお別れ会

☆3月26日(土) 10時~15時

厚木市飯山 湯元旅館

お花見会(3月例会に替えます)